

平成29年度 学校マネジメントシート

三重県立神戸高等学校

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	高品位な進学伝統校を目指し、不断の進化を続けます。 生徒、保護者、地域社会から信頼され、期待される学校づくりを進めます。	
(2)	育みたい 児童生徒像	新たなことに積極的に挑戦する「気概」と困難に立ち向かう「勇気」と神戸高校生としての「誇り」を持って高校生活を送っている。
	ありたい 教職員像	「何のため」「誰のため」の教育かを常に意識するとともに、進取の気概と協働の精神を備え持って教育活動に精励している。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	〈生徒〉 学力の向上、安全・安心な高校生活、手厚い学習指導および進路指導 〈保護者〉 子どもの学力定着と向上、基本的な生活習慣の確立、確かな進路保障 〈地域社会〉 伝統校としての進学実績の向上、地域を担うリーダーの育成	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	〈保護者〉 学習・進路・生活面でのきめ細かい指導 〈地域社会〉 地域の将来を担うリーダーの育成 〈中学校〉 地域の進学校としての存在意義 〈地元大学〉 目的意識の醸成と基礎学力の育成	〈保護者〉 学校と家庭間の連携と信頼関係の構築 〈地域社会〉 キャリア教育充実のための連携と協力 〈中学校〉 生徒の学習習慣の定着と生活習慣の確立 〈地元大学〉 高大連携の充実・促進
(3) 前年度の学校関係者評価等	○ 学力向上の観点から、家庭学習の定着、学習意欲の喚起、目的意識の醸成、授業の工夫・改善等に取り組む必要がある。 ○ 人材育成の観点から、キャリア教育の推進、規範意識の涵養、部活動等を通じてのリーダーシップの育成等を図る必要がある。 ○ 安全・安心な学校づくりの観点から、「命を大切にする教育」の推進、自転車等による交通事故の減少、いじめ・体罰等の撲滅等に取り組む必要がある。 ○ 教職員の満足度向上の観点から、総勤務時間の縮減、過重労働時間の削減等に取り組む必要がある。	
(4) 現状と課題	教育活動	個々の生徒の希望進路に応じたきめ細かい指導が可能となるよう、多様な選択科目や学校設定科目を設置するとともに、習熟度別授業や少人数教育を取り入れている。また、生徒の進路選択に資するため、学科や学年に応じて講演会・ガイダンス等を実施している。 生徒は十分な学力を有していると思われるが、ともすれば周りの環境に流されたり、安易に妥協したりするなど、能力を十分に発揮できていない面がある。 また、中学校・大学との連携は一定できつつあるが、小学校や企業との連携が弱い面がある。小・中・高・大、そして産（企業）と連続する学びの体制を構築していきたい。
	学校運営等	各教員は教科指導（課外授業を含む）、進路指導、生活指導、部活動指導等において真摯に取り組む、一定の成果を上げている。しかしながら、組織全体の情報共有が図りづらく、学年単位での取組に偏る傾向がある。学年主体の取組を中心としつつも、学校全体で統一した動きができるような組織体制を構築していく必要がある。 また、各教員が持てる力を十分発揮するためにも、過重労働の削減や総勤務時間の縮減に取り組む必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後求められる学力の向上・定着とキャリア教育のいっそうの充実を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ① 確かな学力の習得と希望進路の保障 ② 新たな大学入試制度及び新学習指導要領への対応 ○ 規範意識の向上と安全・安心な学校づくりに努めます。 ○ 進学実績の向上と部活動の振興に取り組みます。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員のさらなる資質向上に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ① 教科指導力の向上による授業の工夫・改善 ② 新たな大学入試に対応する指導体制の構築 ○ 保護者や地域からの期待に応え、地域社会を担う人材の育成に努めます。 ○ 小中学校及び大学、企業とのいっそうの連携を図ります。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【備考欄について】「◎」：最重点取組 「※」：定期的に進捗を管理する取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学力の向上と定着	(1) 生徒の授業理解度及び満足度の向上を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> 〈授業の内容を理解できる生徒の割合：80%以上〉 〈授業に満足している生徒の割合：85%以上〉 	(年度末および適宜記載)	◎
	(2) 生徒の家庭学習の定着・充実を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> 〈家庭学習週15時間以上の生徒の割合：65%以上〉 		※
キャリア教育の充実	(1) 各学年の状況に応じたキャリア教育を充実します。 <ul style="list-style-type: none"> 〈進路講演会・説明会等：各学年3～5回〉 		※
	(2) 生徒のキャリア形成のため、体験学習等を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> 〈体験学習等への参加生徒数：延べ100人以上〉 		※
安全・安心な学校づくり	(1) 生徒の交通マナーの遵守、自転車等の事故の減少に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> 〈自転車等の事故件数：15件以下〉 		※
	(2) 生徒の人権意識や情報モラルの向上に取り組むとともに、「命を大切にす教育」を計画的に推進します。 <ul style="list-style-type: none"> 〈いじめの認知件数：0件〉 〈SNSに関する問題行動：0件〉 	※	
進学・部活動の実績向上	(1) 生徒の進学意識の向上を図り、実績の向上に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> 〈国公立大学合格者数：100名以上〉 	◎	
	(2) 部活動の振興と部活動を通じた人材育成を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> 〈生徒の部活動加入率：80%以上〉 〈3年間部活動継続率：75%以上〉 	※	

改善課題

(年度末に記載)

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
教員の指導力向上	(1) 教員の指導力向上を図り、授業の工夫・改善に努めます。 〈教科指導にかかる研修会の実施：年2回〉 〈校外研修会等への参加：教員1人平均1回以上〉	(年度末および適宜記載)	◎
	(2) 生徒の授業評価により、分かる授業の実践に努めます。 〈生徒の授業理解度：80%以上〉		※
新制度への対応	(1) 委員会を設置し、高大接続等に向けた協議を行います。 〈委員会の開催回数：10回〉		◎
	(2) 先進校視察等を行い、成果の環流に努めます。 〈先進校視察・報告会：各2回〉		※
保護者・地域、他校種等との連携	(1) 保護者と協働し、生徒の学校生活充実に努めます。 〈各地区懇談会参加者合計：300人〉		※
	(2) 地域等への広報活動、他校種との連携を促進します。 〈高大連携事業：2大学、小中学校との連携企画：年3回〉 〈中学生及びその保護者等への学校説明会：年3回〉	※	
教職員の意識向上と職場環境等の改善	(1) 教職員のコンプライアンス意識向上に取り組みます。 〈コンプライアンス・ミーティング：年間3回〉	※	
	(2) 休暇取得月平均2日、定時退校月1回、部活動休止日週1回を実施し、総勤務時間縮減・過重労働時間削減に取り組みます。 〈1人あたりの月平均時間外労働時間：前年度比10%減〉	◎	
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)